

資料No.「業務1-9」
防災業務アプリケーションユニット標準仕様
防災情報共有
【インターフェース一覧】

V1.4

平成30年4月



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目次

本書の位置づけ	1
---------------	---

インターフェース一覧

01_災害情報インターフェース一覧	
02_災害概況即報インターフェース一覧	
03_被害状況即報インターフェース一覧	
04_被害状況_付加情報インターフェース一覧	
05_被害状況_詳細情報インターフェース一覧	
06_避難勧告_指示情報インターフェース一覧	
07_避難所情報インターフェース一覧	
08_避難者情報インターフェース一覧	
09_災害対策活動情報インターフェース一覧	
10_配備体制情報インターフェース一覧	
11_通行規制情報インターフェース一覧	
12_水防活動情報インターフェース一覧	
13_自治体基礎情報インターフェース一覧	
14_物資_資機材備蓄情報インターフェース一覧	
15_道路被害情報インターフェース一覧	
16_橋梁被害情報インターフェース一覧	
17_映像情報インターフェース一覧	
18_避難場所情報インターフェース一覧	

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【インターフェース一覧】」は、各業務ユニットが提供側の業務ユニットとして、SOAPのサービス呼出しにより、情報を提供するためのインターフェースを定義したもので、入力・出力を定義したインターフェース一覧と、その中のメッセージ名から関連づけられたメッセージ定義から成る。

各業務ユニットはこのインターフェースを実装することが必要である。

<<準拠ルール>>

- ・各業務ユニットは、本インターフェース一覧で規定されている、各業務ユニットのデータ連携(SOAP呼び出し)インターフェースを持つこと。(必須) [1.9]

<<留意事項>>

- ・全てのデータ項目が必須ではなく、「各自自治体で管理されている項目」且つ「庁外(自治体・国の機関)へ公開して良い項目」で構わない
- ・個人情報を含むインターフェースである「避難者情報」は、参照データの蓄積は行わず、参照後すぐに破棄することを推奨する(団体間の協定内容に依存する)
- ・時間別検索・照会を行うため(参照メッセージ)に、時刻がキーとなっている場合、「〇〇日時_開始」～「〇〇日時_終了」というように任意に設定した範囲で時間別検索・照会を行えるようにした(例: 災害情報の発生日時 「発生日時_開始」～「発生日時_終了」)
- ・災害名に紐付いて管理されるデータについては、災害が「終結」しているのか、「継続」しているのかが1つの判断ポイントとなるため、情報を検索・照会(参照メッセージ)する際に、災害の状況を表す「災害終結フラグ」を参照メッセージに定義している。
- ・各情報の登録結果メッセージにおける「結果情報」と「結果内容」は、本ユニットではアプリケーションエラーまで抽出する必要があると考えるため、業務処理エラーの通知として利用する。そのため、共通ヘッダにおいて定義されている「結果情報(オプション)」と「システムエラー報告(オプション)」は本ユニットでは使用しないこととする。
- ・外部の情報連携先である「L アラート」へのデータ配信を実施する場合は、L アラート運営団体である「一般財団法人マルチメディア振興センター(以下、FMCC)」が以下の仕様を規定しているため、本書では定義せず、FMCC が規定する仕様を参考に実装することとする。

- ・公共コモンズ XML フォーマット仕様書
- ・公共コモンズ インターフェース仕様書

【参考 URL】 <http://www.fmmc.or.jp/commons/>

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（災害情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0101-1	入力	災害情報	災害情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	災害情報登録結果メッセージ
AB0101-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_災对本部名 災害区分 発生日時_開始 発生日時_終了 終結日時_開始 終結日時_終了 災害終結フラグ	災害情報参照メッセージ
	出力	災害情報	災害情報参照結果メッセージ

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報登録メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号	
2	災害情報							1	N		災害時に命名する災害名	
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
5		都道府県		N	12			1	1		災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称	
6		市町村_災对本部名		N	12			1	1		災害名を登録した市町村もしくは災对本部の名称	
7		災害区分		X	2	○	災害区分	1	1		登録した災害の区分	
8		発生日時			日付時間情報				1	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		終結日時			日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10		登録日時			日付時間情報				0	1		災害名を登録した日時
11		更新日時			日付時間情報				0	1		災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)
12		発生場所		N	100				0	1	○	災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
13		災害概要		N	4000				0	1		発生している災害の概要情報
14		備考		N	4000				0	1		備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨す
4	都道府県			N	12			0	1		災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称
5	市町村_災对本部名			N	12			0	1		災害名を登録した市町村もしくは災对本部の名称
6	災害区分			X	2	○	災害区分	0	1		登録した災害の区分
7	発生日時_開始			日付時間情報				0	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	発生日時_終了			日付時間情報				0	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	終結日時_開始			日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10	終結日時_終了			日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
11	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	災害情報						1	N	災害時に命名する災害名	
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
4	都道府県	N	12				1	1	災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称	
5	市町村_災対本部名	N	12				1	1	災害名を登録した市町村もしくは災対本部の名称	
6	災害区分	X	2	○	災害区分		1	1	登録した災害の区分	
7	発生日時	日付時間情報					1	1	登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
8	終結日時	日付時間情報					0	1	登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
9	登録日時	日付時間情報					0	1	災害名を登録した日時	
10	更新日時	日付時間情報					0	1	災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)	
11	発生場所	N	100				0	1	○ 災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
12	災害概要	N	4000				0	1	発生している災害の概要情報	
13	備考	N	4000				0	1	備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する	

インターフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（災害概況即報）	
インターフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0102-1	入力	災害概況即報	災害概況即報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	災害概況即報登録結果メッセージ
AB0102-2	入力	災害識別情報 災害名 報告番号 報告日時_開始 報告日時_終了 都道府県 市町村_消防本部名 災害終結フラグ	災害概況即報参照メッセージ
	出力	災害概況即報	災害概況即報参照結果メッセージ

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害概況即報							1	N		消防庁第4号様式（その1）の情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		報告番号		9	3			1	1		報告番号(初回報は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7		都道府県		N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8		市町村_消防本部名		N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
10		発生場所		N	100			0	1	○	発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
11		発生日時		日付時間情報				0	1		発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。
12		災害の概況		N	4000			0	1		災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
13		死傷者						0	1		死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
14		死者		9	7			0	1		死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-01)」に相当。

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
15		不明	9	7			0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位：人】(情報項目識別子：03-04-02)」に相当。
16		重傷	9	7			0	1		重傷者の数。消防庁第4号様式参照。
17		軽傷	9	7			0	1		軽傷者の数。消防庁第4号様式参照。
18	住家						0	1		住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
19		全壊_棟	9	7			0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-01)」に相当。
20		一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-03)」に相当。
21		半壊_棟	9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-02)」に相当。
22		床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-04)」に相当。
23		床下浸水_棟	9	7			0	1		住家の床下浸水棟数。消防庁第4号様式参照。
24		未分類_棟	9	7			0	1		住家被害において、その程度が未確定の棟数。消防庁第4号様式参照。
25		119番通報の件数	9	7			0	1		119番通報の件数。消防庁第4号様式参照。
26	被害の状況	N	4000			0	1		当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと	
27	災害対策本部等設置状況_都道府県					0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
28	設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。	

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
29		設置状況日時	日付時間情報				1	1	災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。	
30	災害対策本部等設置状況 市町村						0	N	市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。	
31		災害対策本部等設置市町村	N	12			1	1	災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。	
32		設置状況	N	4000				1	1	災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
33		設置状況日時	日付時間情報					1	1	災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
34		消防機関等の活動状況	N	4000				0	1	地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出勤規模、活動状況等。消防庁第4号様式参照。
35	自衛隊派遣要請の状況	N	4000				0	1	自衛隊の災害派遣要請を行った場合の日時及び内容。消防庁第4号様式参照。	
36	応急対策の状況	N	4000				0	1	応急対策の状況に関する情報(其他都道府県又は市町村が講じた応急対策(避難所設置状況、他地方公共団体への応援要請等)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
37	避難勧告等の発令状況						0	1	市町村における各種発令状況。消防庁第4号様式参照。	
38		都道府県名	N	12			0	1	当該都道府県名。消防庁第4号様式参照。	
39		市町村名	N	12			0	1	発令した市町村名。消防庁第4号様式参照。	
40		避難指示(緊急)_対象世帯数	9	7			0	1	避難指示(救急)における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。	
41		避難指示(緊急)_対象人数	9	7			0	1	避難指示(救急)における対象人数。消防庁第4号様式参照。	
42		避難指示(緊急)_発令日時	日付時間情報				0	1	避難指示(緊急)を発令した日時。消防庁第4号様式参照。	
43		避難指示(緊急)_解除日時	日付時間情報				0	1	避難指示(緊急)を解除した日時。消防庁第4号様式参照。	
44		避難勧告_対象世帯数	9	7			0	1	避難勧告における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。	

メッセージ定義

メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ

NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
45		避難勧告_対象人数	9	7			0	1		避難勧告における対象人数。消防庁第4号様式参照。
46		避難勧告_発令日時	日付時間情報				0	1		避難勧告を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
47		避難勧告_解除日時	日付時間情報				0	1		避難勧告を解除した日時。消防庁第4号様式参照。
48		避難準備・高齢者等避難開始_対象世帯数	9	7			0	1		避難準備・高齢者避難開始における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。
49		避難準備・高齢者等避難開始_対象人数	9	7			0	1		避難準備・高齢者避難開始における対象人数。消防庁第4号様式参照。
50		避難準備・高齢者等避難開始_発令日時	日付時間情報				0	1		避難準備・高齢者避難開始を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
51		避難準備・高齢者等避難開始_解除日時	日付時間情報				0	1		避難準備・高齢者避難開始を解除した日時。消防庁第4号様式参照。

メッセージ定義

メッセージ定義名：災害概況即報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告番号			9	3			0	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	都道府県			N	12			0	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	市町村_消防本部名			N	12			0	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	災害概況即報						1	N		消防庁第4号様式（その1）の情報
2	災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名	N	40				1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告番号	9	3				1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5	報告日時			日付時間情報			1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
6	都道府県	N	12				1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7	市町村_消防本部名	N	12				1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	報告者名			職員名情報			0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	発生場所	N	100				0	1	○	発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
10	発生日時			日付時間情報			0	1		発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。
11	災害の概況	N	4000				0	1		災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
12	死傷者						0	1		死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
13		死者	9	7			0	1		死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
14		不明	9	7			0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
15		重傷	9	7			0	1		重傷者の数。消防庁第4号様式参照。
16		軽傷	9	7			0	1		軽傷者の数。消防庁第4号様式参照。
17	住家						0	1		住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
18		全壊_棟	9	7			0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。
19		一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-03)」に相当。
20		半壊_棟	9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-02)」に相当。
21		床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-04)」に相当。
22		床下浸水_棟	9	7			0	1		住家の床下浸水棟数。消防庁第4号様式参照。
23		未分類_棟	9	7			0	1		住家被害において、その程度が未確定の棟数。消防庁第4号様式参照。
24		119番通報の件数	9	7			0	1		119番通報の件数。消防庁第4号様式参照。
25		被害の状況	N	4000			0	1		当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
26	災害対策本部等設置状況 都道府県					0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。	
27		設置状況	N	4000		1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。	
28		設置状況日時	日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
29	災害対策本部等設置状況 市町村					0	N		市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。	
30		災害対策本部等設置市町村	N	12		1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。	
31		設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
32		設置状況日時	日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
33	消防機関等の活動状況	N	4000			0	1		地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出勤規模、活動状況等。消防庁第4号様式参照。	
34	自衛隊派遣要請の状況	N	4000			0	1		自衛隊の災害派遣要請を行った場合の日時及び内容。消防庁第4号様式参照。	
35	応急対策の状況	N	4000			0	1		応急対策の状況に関する情報(其他都道府県又は市町村が講じた応急対策(避難所設置状況、他地方公共団体への応援要請等)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。	
36	避難勧告等の発令状況					0	1		市町村における各種発令状況。消防庁第4号様式参照。	
37	都道府県名	N	12			0	1		当該都道府県名。消防庁第4号様式参照。	
38	市町村名	N	12			0	1		発令した市町村名。消防庁第4号様式参照。	
39	避難指示(緊急)_対象世帯数	9	7			0	1		避難指示(救急)における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。	
40	避難指示(緊急)_対象人数	9	7			0	1		避難指示(救急)における対象人数。消防庁第4号様式参照。	
41	避難指示(緊急)_発令日時	日付時間情報				0	1		避難指示(緊急)を発令した日時。消防庁第4号様式参照。	

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
42		避難指示(緊急)_解除日時	日付時間情報				0	1		避難指示(緊急)を解除した日時。消防庁第4号様式参照。
43		避難勧告_対象世帯数	9	7			0	1		避難勧告における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。
44		避難勧告_対象人数	9	7			0	1		避難勧告における対象人数。消防庁第4号様式参照。
45		避難勧告_発令日時	日付時間情報				0	1		避難勧告を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
46		避難勧告_解除日時	日付時間情報				0	1		避難勧告を解除した日時。消防庁第4号様式参照。
47		避難準備・高齢者等避難開始_対象世帯数	9	7			0	1		避難準備・高齢者避難開始における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。
48		避難準備・高齢者等避難開始_対象人数	9	7			0	1		避難準備・高齢者避難開始における対象人数。消防庁第4号様式参照。
49		避難準備・高齢者等避難開始_発令日時	日付時間情報				0	1		避難準備・高齢者避難開始を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
50		避難準備・高齢者等避難開始_解除日時	日付時間情報				0	1		避難準備・高齢者避難開始を解除した日時。消防庁第4号様式参照。

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（被害状況即報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0103-1	入力	被害状況即報	被害状況即報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	被害状況即報登録結果メッセージ
AB0103-2	入力	災害識別情報 都道府県 災害名 報告番号 報告日時_開始 報告日時_終了 災害終了フラグ	被害状況即報参照メッセージ
	出力	被害状況即報	被害状況即報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	被害状況即報						1	N		消防庁第4号様式（その2）
2	災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	都道府県	N	12				1	1		報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
4	災害名	N	40				1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5	報告番号	9	3				1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6	報告日時	日付時間情報					1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告者名	職員名情報					0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	人的被害						0	1		人的被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	死者	9	7				0	1		死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
10	行方不明者	9	7				0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
11	重傷	9	7				0	1		重傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
12	軽傷	9	7				0	1		軽傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
13	住家被害						0	1		住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
14	全壊_棟	9	7				0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。
15	全壊_世帯	9	7				0	1		住家の全壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
16	全壊_人	9	7			0	1		住家が全壊した住民の人数。家屋が倒壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
17		9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-02)」に相当。	
18		9	7			0	1		住家の半壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
19		9	7			0	1		住家が半壊した住民の人数。家屋が半壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
20		一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-03)」に相当。
21		一部破損_世帯	9	7			0	1		住家の一部破損世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
22		一部破損_人	9	7			0	1		住家の一部破損した人数。住家が一部破損するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
23		床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-04)」に相当。
24		床上浸水_世帯	9	7			0	1		住家が床上浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
25		床上浸水_人	9	7			0	1		住家が床上浸水した人数。住家が浸水するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
26		床下浸水_棟	9	7			0	1		住家が床下浸水した棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「床下浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-05)」に相当。
27		床下浸水_世帯	9	7			0	1		住家が床下浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
28		床下浸水_人	9	7			0	1		住家が床下浸水した人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
29		非住家被害					0	1		非住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
30	公共建物_棟	9	7			0	1		被害を受けた公共建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
31	その他被害	非住家被害_その他_棟	9	7			0	1		被害を受けたその他の建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
32							0	1		その他被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
33		田流失埋没	9	7			0	1		田流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
34		田冠水	9	7			0	1		田冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
35		畑流失埋没	9	7			0	1		畑流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
36		畑冠水	9	7			0	1		畑冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
37		文教施設	9	7			0	1		被害を受けた文教施設箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害文教施設箇所数」に相当。
38		病院	9	7			0	1		被害を受けた病院の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害病院箇所数」に相当。
39		道路	9	7			0	1		被害を受けた道路の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害道路箇所数」に相当。
40		橋りょう	9	7			0	1		被害を受けた橋梁の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害橋梁箇所数」に相当。
41		河川	9	7			0	1		被害を受けた河川の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害河川箇所数」に相当。
42		港湾	9	7			0	1		被害を受けた港湾の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害港湾箇所数」に相当。
43		砂防	9	7			0	1		被害を受けた砂防の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害砂防箇所数」に相当。
44		清掃施設	9	7			0	1		被害を受けた清掃施設の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害清掃施設箇所数」に相当。
45		崖くずれ	9	7			0	1		崖崩れが発生している箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「崖崩れ箇所数」に相当。
46		鉄道不通	9	7			0	1		鉄道が不通となっている箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「鉄道不通箇所数」に相当。

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
47		被害船舶	9	7			0	1		被害を受けた船舶隻数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害船舶隻数」に相当。
48		水道	9	7			0	1		断水している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「断水戸数」に相当。
49		電話	9	7			0	1		電話が不通状態となっている電話回線数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「不通電話回線数」に相当。
50		電気	9	7			0	1		停電が発生している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「停電戸数」に相当。
51		ガス	9	7			0	1		ガス供給が停止している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「ガス供給停止戸数」に相当。
52		ブロック塀等	9	7			0	1		被害ブロック塀等箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害ブロック塀等箇所数」に相当。
53	り災世帯数		9	7			0	1		罹災対象世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
54	り災者数		9	7			0	1		罹災対象者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
55	火災発生						0	1		火災発生件数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
56		建物	9	7			0	1		建物火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
57		危険物	9	7			0	1		危険物の火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
58		火災発生_その他	9	7			0	1		その他火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。
59	公立文教施設		S9	13			0	1		公立文教施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
60		農林水産業施設	S9	13			0	1		農林水産業施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
61		公共土木施設	S9	13			0	1		公共土木施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
62		その他の公共施設	S9	13			0	1		その他公共施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
63	小計		S9	15			0	1		上記被害額の合計(千円)。消防庁第4号様式参照。
64	公共施設被害市町村数		9	4			0	1		公共施設被害市町村の数(団体数)。消防庁第4号様式参照。
65	被害額その他						0	1		農業、林業、畜産、水産、商工、その他被害に関する被害規模を登録する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
66	農業被害		S9	13			0	1		農業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
67	林業被害		S9	13			0	1		林業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
68	畜産被害		S9	13			0	1		畜産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
69	水産被害		S9	13			0	1		水産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
70	商工被害		S9	13			0	1		商工被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
71	被害額その他_その他		S9	13			0	1		その他の被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
72	被害総額		S9	15			0	1		公共文教施設に関する被害額～その他被害額までの総計(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
73	災害対策本部等設置状況_都道府県						0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
74	設置状況		N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
75	設置状況日時		日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
76	災害対策本部等設置状況_市町村						0	N		災害対策本部を設置している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
77	災害対策本部等設置市町村		N	12			1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
78	設置状況		N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
79		設置状況日時	日付時間情報				1	1	災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
80	災害救助法適用市町村						0	N	災害救助法を適用している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
81		市町村_消防本部名	N	12			0	1	災害救助法を適用した市町村名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害救助法適用市町村名」に相当。
82		適用日時	日付時間情報				0	1	災害救助法を適用した日時。消防庁第4号様式参照。
83		災害救助法適用市町村数	9	4			0	1	災害救助法を適用した市町村数。消防庁第4号様式参照。
84	119番通報件数	9	7				0	1	119番通報の件数。消防庁第4号様式参照。
85	災害の概況	N	4000				0	1	災害の概況に関する情報(災害発生場所、災害発生日時、災害の種類、概況)。消防庁第4号様式参照。
86	応急対策の状況						0	1	応急対策の状況。消防庁第4号様式参照。
87		消防機関等の活動状況	N	4000			0	1	消防機関等の活動状況。消防庁第4号様式参照。
88		自衛隊の災害派遣	N	4000			0	1	自衛隊の災害派遣要請状況(日時、内容等)。消防庁第4号様式参照。
89		その他	N	4000			0	1	その他の情報(避難所設置状況、災害ボランティア活動状況等)。消防庁第4号様式参照。

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（被害情報_付加情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0104-1	入力	被害情報_付加情報	被害情報_付加情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	被害情報_付加情報登録結果メッセージ
AB0104-2	入力	災害識別情報 災害名 報告番号 報告日時_開始 報告日時_終了 都道府県 市町村_消防本部名 被害識別情報 災害終了フラグ	被害情報_付加情報参照メッセージ
	出力	被害情報_付加情報	被害情報_付加情報参照結果メッセージ

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報登録メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	利用業務ユニット	X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号	
2	被害状況_付加情報					1	N		消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目を付加情報として整理	
3	災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
4	災害名	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
5	報告番号	9	3			1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
6	報告日時	日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
7	都道府県	N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
8	市町村_消防本部名	N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
9	被害識別情報	X	20			1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する	
10	報告者名	職員名情報				0	1		報告を実施した職員の名前	
11	発生場所	N	100			0	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
12	発生日時	日付時間情報				1	1		被害が発生した日時	
13	更新日時	日付時間情報				1	1		被害情報の更新日時	
14	重傷者数					0	1		重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数来判断する。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-03)」に相当。	
15	総数	9	8			0	1		重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害情報_付加情報登録メッセージ								
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
					CD	コード名	最小	最大			
16	軽傷者数	鉄道	9	7			0	1		重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる	
17		道路	9	7			0	1		重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる	
18								0	1		軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数进行判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-04)」に相当。
19		総数	9	8				0	1		軽傷者数
20		鉄道	9	7				0	1		軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
21		備考		N	4000				0	1	

メッセージ定義

メッセージ定義名：被害情報_付加情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害情報_付加情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告番号		9	3			0	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5	報告日時_開始		日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	報告日時_終了		日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	都道府県		N	12			0	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	市町村_消防本部名		N	12			0	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	被害識別情報		X	20			0	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
10	災害終結フラグ		X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害情報_付加情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
1	被害状況_付加情報						1	N	消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目を付加情報として整理
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告番号	9	3				1	1	報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5	報告日時	日付時間情報					1	1	報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	都道府県	N	12				1	1	報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7	市町村_消防本部名	N	12				1	1	報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	被害識別情報	X	20				1	1	被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
9	報告者名	職員名情報					0	1	報告を実施した職員の名前
10	発生場所	N	100				0	1	○ 被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
11	発生日時	日付時間情報					1	1	被害が発生した日時
12	更新日時	日付時間情報					1	1	被害情報の更新日時
13	重傷者数						0	1	重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数判断する。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-03)」に相当。
14	総数	9	8				0	1	重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
15	鉄道	9	7				0	1	重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害情報_付加情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
16	軽傷者数	道路	9	7			0	1		重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
17							0	1		軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数を判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-04)」に相当。
18		総数	9	8			0	1		軽傷者数
19		鉄道	9	7			0	1		軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
20		備考		N	4000			0	1	

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（被害状況_詳細情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0105-1	入力	被害状況_詳細情報	被害状況_詳細情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	被害状況_詳細情報登録結果メッセージ
AB0105-2	入力	災害識別情報 災害名 報告日時_開始 報告日時_終了 都道府県 市町村_消防本部名 被害識別情報 確実度 対応 被害種別 災害終了フラグ	被害状況_詳細情報参照メッセージ
	出力	被害状況_詳細情報	被害状況_詳細情報参照結果メッセージ

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	利用業務ユニット	X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号	
2	被害状況_詳細情報					1	N		被害情報の1事案に関する詳細情報	
3	災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
4	災害名	N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
5	報告日時	日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
6	都道府県	N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
7	市町村_消防本部名	N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
8	被害識別情報	X	20			1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する	
9	報告者名	職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
10	確実度	X	1	○	確実度	1	1		被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当	
11	対応	X	1	○	対応状況	1	1		発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)	
12	被害種別	X	1	○	被害種別	1	1		被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)	
13	被害名	N	50			0	1	○	被害対象名称(人名、建物名等)	
14	発生日時	日付時間情報				0	1		被害が発生した日時	

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
15	発生場所		N	100				0	1	○	被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
16			職員名情報					0	1		被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当	
17		人的被害							0	N		人的被害に関する被害の詳細情報
18			被害区分	X	1	○	人的被害区分		0	1		人的被害に関する被害区分(死者、行方不明・・・等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当
19			被害者氏名	氏名情報					0	1	○	被害者氏名に関する情報
20			被害者性別	X	1	○	性別		0	1		被害者の性別情報
21			被害者生年月日	生年月日情報					0	1		被害者の生年月日
22			被害者住所	住所情報					0	1	○	被害者の住所
23			被害者連絡先	X	30				0	1		被害者の連絡先(電話番号)
24			収容先	N	100				0	1		被害者の収容先に関する情報
25			収容先住所	住所情報					0	1	○	被害者の収容先の住所
26			収容先連絡先	X	30				0	1		被害者の収容先の連絡先(電話番号)
27		住家被害							0	N		住家被害に関する情報
28			被害区分	X	1	○	住家被害区分		0	1		住家被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
29		世帯数	9	7			0	1		住家被害により被害を受けた世帯数
30		被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
31	非住家被害						0	N		非住家被害に関する情報
32		被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		被害対象物(公共建物、その他)に関する情報
33		被害区分	X	1	○	非住家被害区分	0	1		非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
34		被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
35	その他被害						0	N		その他被害(田、畑、文教施設……等)に関する情報
36		被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設……等)に関する情報
37		被害区分	X	2	○	その他被害区分	0	1		その他被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
38		被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
39	備考		N	4000			0	1		備考欄として被害状況_詳細情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5	報告日時_開始		日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	報告日時_終了		日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	都道府県		N	12			0	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	市町村_消防本部名		N	12			0	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	被害識別情報		X	20			0	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
10	確実度		X	1	○	確実度	0	1		被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
11	対応		X	1	○	対応状況	0	1		発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
12	被害種別		X	1	○	被害種別	0	1		被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
13	災害終結フラグ		X	10			0	1		災害の終結状態(継続しているか、終結しているか)を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	被害状況_詳細情報						1	N		被害情報の1事案に関する詳細情報
2	災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名	N	40				1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告日時						1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
5	都道府県	N	12				1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6	市町村_消防本部名	N	12				1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7	被害識別情報	X	20				1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
8	報告者名						0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	確実度	X	1	○	確実度		1	1		被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
10	対応	X	1	○	対応状況		1	1		発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
11	被害種別	X	1	○	被害種別		1	1		被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
12	被害名	N	50				0	1	○	被害対象名称(人名、建物名等)
13	発生日時						0	1		被害が発生した日時

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照結果メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
14	発生場所		N	100				0	1	○	被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
15		報告者名		職員名情報				0	1		被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当	
16		人的被害							0	N		人的被害に関する被害の詳細情報
17			被害区分	X	1	○	人的被害区分	0	1		人的被害に関する被害区分(死者、行方不明・・・等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当	
18			被害者氏名	氏名情報					0	1	○	被害者氏名に関する情報
19			被害者性別	X	1	○	性別	0	1			被害者の性別情報
20			被害者生年月日	生年月日情報					0	1		被害者の生年月日
21			被害者住所	住所情報					0	1	○	被害者の住所
22			被害者連絡先	X	30				0	1		被害者の連絡先(電話番号)
23			収容先	N	100				0	1		被害者の収容先に関する情報
24			収容先住所	住所情報					0	1	○	被害者の収容先の住所
25			収容先連絡先	X	30				0	1		被害者の収容先の連絡先(電話番号)
26		住家被害							0	N		住家被害に関する情報
27			被害区分	X	1	○	住家被害区分	0	1			住家被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)

メッセージ定義			メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
28		世帯数	9	7			0	1		住家被害により被害を受けた世帯数
29		被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
30	非住家被害						0	N		非住家被害に関する情報
31		被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		被害対象物(公共建物、その他)に関する情報
32		被害区分	X	1	○	非住家被害区分	0	1		非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
33		被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
34		その他被害						0	N	
35	その他被害	被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設……等)に関する情報
36		被害区分	X	2	○	その他被害区分	0	1		その他被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
37		被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
38	備考		N	4000			0	1		備考欄として被害状況_詳細情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（避難勧告_指示情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0106-1	入力	避難勧告_指示情報	避難勧告_指示情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	避難勧告_指示情報登録結果メッセージ
AB0106-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_災对本部名 避難勧告_指示識別情報 発令日時_開始 発令日時_終了 解除日時_開始 解除日時_終了 勧告種別 災害終結フラグ	避難勧告_指示情報参照メッセージ
	出力	避難勧告_指示情報	避難勧告_指示情報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	利用業務ユニット	X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号	
2	避難勧告_指示情報					1	N		住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行った情報	
3	災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
4	災害名	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
5	都道府県	N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当	
6	市町村_災対本部名	N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは災対本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当	
7	避難勧告_指示識別情報	X	20			1	1		避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+E+管理番号(5桁～)で管理する	
8	発令システム識別子	X	100			0	1		発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当	
9	送信日時	日付時間情報				0	1		避難勧告・指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当	
10	発令日時	日付時間情報				1	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
11	解除日時	日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
12	メッセージ状態	X	1	○	メッセージの状態	0	1		避難勧告・指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか・・・等。CAPでは「Status」に相当	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
13	メッセージ種別		X	1	○	メッセージの種類	0	1		メッセージの種類。CAPでは「msgType」に相当
14	配信範囲		X	1	○	配信の範囲	0	1		メッセージ配信先
15	言語		N	20			0	1		配信情報の記述言語
16	災害区分		X	2	○	災害区分	0	1		CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す
17	避難原因		N	4000			0	1		災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令要因」に相当
18	勧告種別		X	1	○	避難勧告指示種別	1	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
19	発令権限者		職員名情報				0	1		避難勧告・指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令者」に相当。
20	ヘッドライン		N	100			1	1		ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。
21	避難情報文		N	4000			1	1		避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。
22	添付ファイル説明文		N	100			0	1		添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。
23	対象地域		N	100			1	1	○	避難勧告・指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。
24	緊急処理事態						0	1		「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」に記載されている緊急処理事態に関する情報

メッセージ定義		メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ								
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
25		都道府県緊急対処事態対策本部を設置すべき都道府県	N	100			0	1		緊急対処事態対策本部を設置している都道府県名
26		市町村緊急対処事態対策本部を設置すべき市町村	N	100			0	1		緊急対処事態対策本部を設置している市町村名
27		警報内容	N	4000			0	1		緊急対処事態対策本部から発令される警報に関する情報
28		警報の通知伝達の対象となる地域の範囲	N	4000			0	1		警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
29		サイレンを使用する地域	N	4000			0	1	○	警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない...等
30		避難措置の指示内容	N	4000			0	1		緊急対処事態発生に伴い指示した避難措置の内容
31		要避難地域	N	4000			0	1	○	要避難地域名
32		避難先地域	N	4000			0	1	○	避難先の地域名
33		住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要	N	4000			0	1		住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要内容(関係機関は、避難中の不測の事態発生の場合には、必要に応じ、速やかに、国民保護法等の関係法令に基づく緊急通報の発令、退避の指示等の所要の措置を行う必要がある。また、避難は関係機関と調整の上、攻撃の予防・鎮圧措置等も踏まえ、安全な経路・場所を選択する必要がある)
34		発令・解除区分	X	2	○	発令・解除区分	1	1		避難勧告・指示情報の発令・解除の区分 (01:発令、02:解除)
35	発令理由	N	1000			0	1		避難勧告等を発令した際の理由(住民にとっての避難理由でもある)。放送局等のメディアが必要としている情報であり、具体的な説明が求められる。発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・○○川の水位がはん濫注意水位に到達し、堤防を越える恐れがあります。 ・○○川排水機場 ポンプ停止に伴い冠水 面の上昇が懸念されます。 ・近隣の崖から湧き水が増えており、がけ崩れの恐れがあります。 ・○時○分に○○市に大雨警報が発表されました。土砂災害の危険性が高くなることが予想されます。 ・△△地区で土砂災害の発生が確認され、土砂災害の危険性が極めて高まっています。 ・大津波警報が発表されました。	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
36	避難行動指針			N	1000			0	1		住民がとる避難行動への指針となる情報 発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・〇〇地域の〇〇地区の方は、直ちに予め定めた避難行動をとってください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難して下さい。 ・自宅の2階や避難所など、安全に避難できる場所に避難してください。 ・現在、浸水により〇〇道は通行できない状況です。〇〇地区を避難中の方は大至急、最寄りの高層建物など、安全な場所に避難してください。 ・急斜面の付近や河川沿いにいる方は、急斜面や河川等から離れたなるべく頑強な建物等へ避難して下さい。 ・ただちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所に避難してください。
37	備考			N	4000			0	1		備考欄として避難勧告_指示情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県		N	12			0	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
5	市町村_災对本部名		N	12			0	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは災对本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
6	避難勧告_指示識別情報		X	20			0	1		避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+E+管理番号(5桁)で管理する
7	発令日時_開始						0	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	発令日時_終了						0	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	解除日時_開始						0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
10	解除日時_終了			日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
11	勧告種別			X	1	○	避難勧告指示種別	0	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
12	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態(継続しているか、終結しているか)を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	避難勧告_指示情報						1	N	住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行った情報	
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
4	都道府県	N	12				1	1	避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当	
5	市町村_災対本部名	N	12				1	1	避難勧告・指示を発令した市町村もしくは災対本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当	
6	避難勧告_指示識別情報	X	20				1	1	避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+E+管理番号(5桁～)で管理する	
7	発令システム識別子	X	100				0	1	発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当	
8	送信日時			日付時間情報			0	1	避難勧告・指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当	
9	発令日時			日付時間情報			1	1	避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
10	解除日時			日付時間情報			0	1	避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
11	メッセージ状態	X	1		○	メッセージの状態	0	1	避難勧告・指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか……等。CAPでは「Status」に相当	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
12	メッセージ種別		X	1	○	メッセージの種類	0	1		メッセージの種類。CAPでは「msgType」に相当	
13	配信範囲		X	1	○	配信の範囲	0	1		メッセージ配信先	
14	言語		N	20			0	1		配信情報の記述言語	
15	災害区分		X	2	○	災害区分	0	1		CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す	
16	避難原因		N	4000			0	1		災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令要因」に相当	
17	勧告種別		X	1	○	避難勧告指示種別	1	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。	
18	発令権限者		職員名情報				0	1		避難勧告・指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令者」に相当。	
19	ヘッドライン		N	100			1	1		ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。	
20	避難情報文		N	4000			1	1		避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。	
21	添付ファイル説明文		N	100			0	1		添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。	
22	対象地域		N	100			1	1	○	避難勧告・指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。	

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
23	緊急処理事態						0	1	「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」に記載されている緊急処理事態に関する情報
24		都道府県緊急処理事態対策本部を設置すべき都道府県	N	100			0	1	緊急処理事態対策本部を設置している都道府県名
25		市町村緊急処理事態対策本部を設置すべき市町村	N	100			0	1	緊急処理事態対策本部を設置している市町村名
26		警報内容	N	4000			0	1	緊急処理事態対策本部から発令される警報に関する情報
27		警報の通知伝達の対象となる地域の範囲	N	4000			0	1	警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
28		サイレンを使用する地域	N	4000			0	1	○ 警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない…等
29		避難措置の指示内容	N	4000			0	1	緊急処理事態発生に伴い指示した避難措置の内容
30		要避難地域	N	4000			0	1	○ 要避難地域名
31		避難先地域	N	4000			0	1	○ 避難先の地域名
32		住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要	N	4000			0	1	住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要内容(関係機関は、避難中の不測の事態発生の場合には、必要に応じ、速やかに、国民保護法等の関係法令に基づく緊急通報の発令、退避の指示等の所要の措置を行う必要がある。また、避難は関係機関と調整の上、攻撃の予防・鎮圧措置等も踏まえ、安全な経路・場所を選択する必要がある)

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
33	発令・解除区分		X	2	○	発令・解除区分	1	1		避難勧告・指示情報の発令・解除の区分 (01:発令、02:解除)
34	発令理由		N	1000			0	1		避難勧告等を発令した際の理由(住民にとっての避難理由でもある)。 放送局等のメディアが必要としている情報であり、具体的な説明が求められる。発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・○○川の水位がはん濫注意水位に到達し、堤防を越える恐れがあります。 ・○○川排水機場 ポンプ停止に伴い冠水 面の上昇が懸念されます。 ・近隣の崖から湧き水が増えており、がけ崩れの恐れがあります。 ・○時○分に○○市に大雨警報が発表されました。土砂災害の危険性が高くなることが予想されます。 ・△△地区で土砂災害の発生が確認され、土砂災害の危険性が極めて高まっています。 ・大津波警報が発表されました。
35	避難行動指針		N	1000			0	1		住民がとる避難行動への指針となる情報 発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・○○地域の○○地区の方は、直ちに予め定めた避難行動をとってください。 外が危険な場合は、屋内の高いところに避難して下さい。 ・自宅の2階や避難所など、安全に避難できる場所に避難してください。 ・現在、浸水により○○道は通行できない状況です。○○地区を避難中の方は大至急、最寄りの高層建物など、安全な場所に避難してください。 ・急斜面の付近や河川沿いにいる方は、急斜面や河川等から離れたなるべく頑強な建物等へ避難して下さい。 ・ただちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所に避難してください。
36	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難勧告_指示情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（避難所情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0107-1	入力	避難所情報	避難所情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	避難所情報登録結果メッセージ
AB0107-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_災对本部名 避難所識別情報 避難所名 報告日時_開始 報告日時_終了 開設日時_開始 開設日時_終了 閉鎖日時_開始 閉鎖日時_終了 災害終結フラグ	避難所情報参照メッセージ
	出力	避難所情報	避難所情報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット (サービス要求側業務ユニット)の業務ユニット番号
2	避難所情報						1	N		避難所の運営に関する情報
3	災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
4	災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5	都道府県		N	12			1	1		避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
6	市町村_災対本部名		N	12			1	1		避難所を運営する市町村もしくは災対本部の名称
7	避難所識別情報		X	20			1	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
8	避難所名		N	30			1	1		避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCML2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
9	避難所種別		X	2	○	避難所種別	1	1		避難所の種別 (01:避難所、02:臨時避難所、03:広域避難場所:開設措置なし、04:一時避難場所:開設措置) ※Lアラートへの配信の際は、最新のLアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
10	避難所指定区分		X	2	○	避難所指定区分	0	1		避難所の指定区分 (01:指定避難所、02:指定緊急避難場所兼避難所、03:指定緊急避難場所、04指定なし) ※Lアラートへの配信の際は、最新のLアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
11	電話番号		X	30			0	1		避難所の電話番号
12	FAX番号		X	30			0	1		避難所のFAX番号
13	避難所の連絡先		N	1000			0	1		避難所の連絡先(電話、メール等)
14	避難所住所		住所情報				0	1		避難所の住所
15	緯度		9V	3、6			0	1		避難所の位置情報(緯度) ※世界測地系10進法で入力(例:34.768797)
16	経度		9V	3、6			0	1		避難所の位置情報(経度) ※世界測地系10進法で入力(例:134.836031)

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
17	管理者			職員名情報				0	1		避難所の管理者名
18	収容人数			9	7			0	1		避難所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
19	報告日時			日付時間情報				1	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
20	避難所状況確認日時			日付時間情報				0	1		避難所の状況を確認した日付・時間
21	建物被害状況			N	4000			0	1		避難所建物の被害状況
22	電力被害状況			N	4000			0	1		避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。
23	通信手段被害状況			N	4000			0	1		避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。
24	その他の被害			N	4000			0	1		避難所建物のその他被害状況
25	使用可否			X	1	○	可否	0	1		避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
26	開設の可否			X	1	○	可否	1	1		避難所の開設の可・不可。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード)(情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字)(情報項目識別子(03-04-06))」に相当。
27	開設日時			日付時間情報				1	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
28	閉鎖日時			日付時間情報				1	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
29	避難者数			9	7			0	1		避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
30	避難世帯数		9	7			0	1		避難所への避難世帯数
31	負傷者数		9	7			0	1		負傷している住民数
32	要援護者数						0	1		避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
33	要介護度3以上		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
34	一人暮らし高齢者.65歳以上		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
35	高齢者世帯.夫婦共に65歳以上		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数
36	寝たきり高齢者		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数
37	認知症高齢者		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
38	療育手帳A_A1_A2所持者		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
39	身体障がい者手帳1.2級所持者		9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
40	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：避難所情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_災対本部名			N	12			0	1		避難所を運営する市町村もしくは災対本部の名称
6	避難所識別情報			X	20			0	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
7	避難所名			N	30			0	1		避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCM2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
8	報告日時_開始							0	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	報告日時_終了							0	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10	開設日時_開始							0	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
11	開設日時_終了			日付時間情報				0	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
12	閉鎖日時_開始			日付時間情報				0	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
13	閉鎖日時_終了			日付時間情報				0	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
14	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難所情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
1	避難所情報						1	N	避難所の運営に関する情報
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁〜)で管理する
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県	N	12				1	1	避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_災对本部名	N	12				1	1	避難所を運営する市町村もしくは災对本部の名称
6	避難所識別情報	X	20				1	1	避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+I+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
7	避難所名	N	30				1	1	避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCML2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
8	避難所種別	X	2	○	避難所種別		1	1	避難所の種別 (01:避難所、02:臨時避難所、03:広域避難場所:開設措置なし、04:一時避難場所:開設措置) ※Lアラートへの配信の際は、最新のLアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
9	避難所指定区分	X	2	○	避難所指定区分		0	1	避難所の指定区分 (01:指定避難所、02:指定緊急避難場所兼避難所、03:指定緊急避難場所、04指定なし) ※Lアラートへの配信の際は、最新のLアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
10	電話番号	X	30				0	1	避難所の電話番号
11	FAX番号	X	30				0	1	避難所のFAX番号
12	避難所の連絡先	N	1000				0	1	避難所の連絡先(電話、メール等)
13	避難所住所	住所情報					0	1	避難所の住所
14	緯度	9V	3、6				0	1	避難所の位置情報(緯度) ※世界測地系10進法で入力 (例:34.768797)
15	経度	9V	3、6				0	1	避難所の位置情報(経度) ※世界測地系10進法で入力 (例:134.836031)
16	管理者	職員名情報					0	1	避難所の管理者名

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難所情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
17	収容人数		9	7			0	1		避難所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
18	報告日時		日付時間情報				1	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
19	避難所状況確認日時		日付時間情報				0	1		避難所の状況を確認した日付・時間
20	建物被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の被害状況
21	電力被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。
22	通信手段被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。
23	その他の被害		N	4000			0	1		避難所建物のその他被害状況
24	使用可否		X	1	○	可否	0	1		避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
25	開設の可否		X	1	○	可否	1	1		避難所の開設の可・不可。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード) (情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字) (情報項目識別子(03-04-06))」に相当。
26	開設日時		日付時間情報				1	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
27	閉鎖日時		日付時間情報				1	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
28	避難者数		9	7			0	1		避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。
29	避難世帯数		9	7			0	1		避難所への避難世帯数

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難所情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
30	負傷者数		9	7			0	1		負傷している住民数
31	要援護者数						0	1		避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
32		要介護度3以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
33		一人暮らし高齢者_65歳以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
34		高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数
35		寝たきり高齢者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数
36		認知症高齢者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
37		療育手帳A_A1_A2所持者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
38		身体障がい者手帳1_2級所持者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
39	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（避難者情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0108-1	入力	避難者情報	disAB0108s-2018-01.xsd disAB0108s-2018-01.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	
AB0108-2	入力	災害識別情報 災害名 氏名 性別 生年月日 住所 災害終結フラグ	disAB0108s-2018-01.xsd disAB0108s-2018-01.wsdl
	出力	避難者情報	

メッセージ定義

メッセージ定義名：避難者情報登録メッセージ

NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
					CD	コード名	最小	最大			
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号	
2	避難者情報						1	N		避難所へ避難している住民に関する情報	
3		災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名	N	40				1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨す
5		氏名	氏名情報					1	1	○	避難者の氏名
6		性別	X	1	○	性別		1	1		避難者の性別(男性、女性)
7		年齢	9	3				0	1		避難者の年齢
8		生年月日	生年月日情報					1	1		避難者の生年月日
9		住所	住所情報					1	1	○	避難者の住所
10		市外区分	X	1	○	市外区分		0	1		避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
11		避難先避難所名	N	30				0	1		避難者が避難した避難所名
12		避難状況	X	1	○	避難区分		0	1		市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
13		避難理由	N	4000				0	1		避難した理由(自主避難、避難勧告に基づき避難、避難指示に基づき避難等)
14		入所年月日	日時時間情報					0	1		避難所へ避難してきた日時
15		退所年月日	日時時間情報					0	1		避難所を退去した日時
16		退所先	N	100				0	1		避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報登録メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
17	退所先電話番号		X	30			0	1		退去先の電話番号
18	負傷		X	1	○	負傷	0	1		怪我の有無
19	負傷内容		N	4000			0	1		怪我の内容
20	アレルギー		X	1	○	アレルギー	0	1		アレルギーの有無
21	アレルギー物質		N	4000			0	1		アレルギー物質名
22	妊婦		X	1	○	妊婦区分	0	1		「妊娠中」「該当しない」かを選択する
23	乳幼児		X	1	○	乳幼児区分	0	1		「1歳に満たない子供」「該当しない」を選択する
24	要援護者区分						0	1		要援護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者_65歳以上」「高齢者夫妻_夫婦共に65歳以上」「寝たきり認知証高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
25	要介護度3以上		X	2	○	要介護度	0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
26	一人暮らし高齢者_65歳以上		X	1	○	一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
27	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		X	1	○	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
28	寝たきり高齢者		X	1	○	寝たきり高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か
29	認知症高齢者		X	1	○	認知症高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か
30	療育手帳A_A1_A2所持者		X	2	○	療育手帳等級	0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か
31	身体障がい者手帳1,2級所持者		X	1	○	身体障がい者手帳1,2級所持者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か
32	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難者情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：避難者情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難者情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	氏名		氏名情報				0	1	○	避難者の氏名
5	性別		X	1	○	性別	0	1		避難者の性別(男性、女性)
6	生年月日		生年月日情報				0	1		避難者の生年月日
7	住所		住所情報				0	1	○	避難者の住所
8	災害終結フラグ		X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	避難者情報						1	N		避難所へ避難している住民に関する情報
2	災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	氏名		氏名情報				1	1	○	避難者の氏名
5	性別		X	1	○	性別	1	1		避難者の性別(男性、女性)
6	年齢		9	3			0	1		避難者の年齢
7	生年月日		生年月日情報				1	1		避難者の生年月日
8	住所		住所情報				1	1	○	避難者の住所
9	市外区分		X	1	○	市外区分	0	1		避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
10	避難先避難所名		N	30			0	1		避難者が避難した避難所名
11	避難状況		X	1	○	避難区分	0	1		市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
12	避難理由		N	4000			0	1		避難した理由(自主避難、避難勧告に基づき避難、避難指示に基づき避難等)
13	入所年月日		日時時間情報				0	1		避難所へ避難してきた日時
14	退所年月日		日時時間情報				0	1		避難所を退去した日時
15	退所先		N	100			0	1		避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)
16	退所先電話番号		X	30			0	1		退去先の電話番号

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
17	負傷		X	1	○	負傷	0	1		怪我の有無
18	負傷内容		N	4000			0	1		怪我の内容
19	アレルギー		X	1	○	アレルギー	0	1		アレルギーの有無
20	アレルギー物質		N	4000			0	1		アレルギー物質名
21	妊婦		X	1	○	妊婦区分	0	1		「妊娠中」「該当しない」かを選択する
22	乳幼児		X	1	○	乳幼児区分	0	1		「1歳に満たない子供」「該当しない」を選択する
23	要援護者区分						0	1		要援護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者 65歳以上」「高齢者夫妻 夫婦共に65歳以上」「寝たきり認知証高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
24	要介護度3以上		X	2	○	要介護度	0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
25	一人暮らし高齢者_65歳以上		X	1	○	一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
26	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		X	1	○	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
27	寝たきり高齢者		X	1	○	寝たきり高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か
28	認知症高齢者		X	1	○	認知症高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か
29	療育手帳A_A1_A2所持者		X	2	○	療育手帳等級	0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か
30	身体障がい者手帳1_2級所持者		X	1	○	身体障がい者手帳1,2級所持者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か
31	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難者情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（災害対応活動情報）		
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0109-1	入力	災害対応活動情報	災害対応活動情報登録メッセージ	disAB0109s-2018-01.xsd disAB0109s-2018-01.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	災害対応活動情報登録結果メッセージ	
AB0109-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 報告日時_開始 報告日時_終了 活動情報 災害終了フラグ	災害対応活動情報参照メッセージ	disAB0109s-2018-01.xsd disAB0109s-2018-01.wsdl
	出力	災害対応活動情報	災害対応活動情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害対応活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害対応活動情報						1	N		災害対応に関する情報。例えば、発生した被害に対する対応/処置状況に関する情報等
3		災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県	N	12				1	1	災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
6		市町村_消防本部名	N	12				1	1	災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
7		報告日時		日付時間情報				1	1	報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		報告者名		職員名情報				0	1	報告を実施した職員の氏名
9		組織名		所属情報				0	1	報告元自治体内組織名称
10		活動情報						1	1	災害対応活動に関する情報
11		活動識別情報	X	20				1	1	活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+A+管理番号(5桁～)で管理する
12		タイトル	N	50				1	1	活動内容が分かるタイトル
13		活動開始日時		日付時間情報				1	1	災害対応活動を開始した日時
14		活動終了日時		日付時間情報				1	1	災害対応活動を終了した日時

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害対応活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15		活動場所	N	100			1	1	○	災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
16			活動内容	N	4000			1	1		災害対応活動の内容
17		備考		N	4000			0	1		備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：災害対応活動情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害対応活動情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	都道府県		N	12			0	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_消防本部名		N	12			0	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
6	報告日時_開始		日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告日時_終了		日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	活動情報						0	1		災害対応活動に関する情報
9	活動識別情報		X	20			0	1		活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+A+管理番号(5桁～)で管理する
10	タイトル		N	50			0	1		活動内容が分かるタイトル
11	災害終結フラグ		X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：災害対応活動情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
1	災害対応活動情報						1	N	災害対応に関する情報。例えば、発生した被害に対する対応/処置状況に関する情報等
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを指す
4	都道府県	N	12				1	1	災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_消防本部名	N	12				1	1	災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
6	報告日時			日付時間情報			1	1	報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告者名			職員名情報			0	1	報告を実施した職員の氏名
8	組織名			所属情報			0	1	報告元自治体内組織名称
9	活動情報						1	1	災害対応活動に関する情報
10	活動識別情報	X	20				1	1	活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+A+管理番号(5桁～)で管理する
11	タイトル	N	50				1	1	活動内容が分かるタイトル
12	活動開始日時			日付時間情報			1	1	災害対応活動を開始した日時
13	活動終了日時			日付時間情報			1	1	災害対応活動を終了した日時
14	活動場所	N	100				1	1	○ 災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
15	活動内容	N	4000				1	1	災害対応活動の内容
16	備考	N	4000				0	1	備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（配備体制情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0110-1	入力	配備体制情報	disAB0110s-2018-01.xsd disAB0110s-2018-01.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	
AB0110-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_災对本部名 発令日時_開始 発令日時_終了 災害終結フラグ	disAB0110s-2018-01.xsd disAB0110s-2018-01.wsdl
	出力	配備体制情報	

メッセージ定義				メッセージ定義名：配備体制情報登録メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号	
2	配備体制情報							1	N		地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある時に、各団体にて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制名に関する女王	
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
5		都道府県		N	12			1	1		配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称	
6		市町村_災对本部名		N	12			1	1		配備体制を発令した市町村もしくは災对本部の名称	
7		登録日時		日付時間情報					1	1		配備体制情報を登録した日時
8		発令日時		日付時間情報					1	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		解除日時		日付時間情報					0	1		配備体制を解除した日時
10		配備体制名		N	30				1	1		配備体制名称。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別(通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部)」に相当。
11		備考		N	4000				0	1		備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名： 配備体制情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：配備体制情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	都道府県			N	12			0	1		配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_災对本部名			N	12			0	1		配備体制を発令した市町村もしくは災对本部の名称
6	発令日時_開始			日付時間情報				0	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキームでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキームでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	発令日時_終了			日付時間情報				0	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキームでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキームでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：配備体制情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	配備体制情報							1	N		地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある時に、各団体にて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制名に関する女王
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4		都道府県		N	12			1	1		配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称
5		市町村_災对本部名		N	12			1	1		配備体制を発令した市町村もしくは災对本部の名称
6		登録日時						1	1		配備体制情報を登録した日時
7		発令日時						1	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキームでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキームでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		解除日時						0	1		配備体制を解除した日時
9		配備体制名		N	30			1	1		配備体制名称。減災情報共有スキームでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別(通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部)」に相当。
10		備考		N	4000			0	1		備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（通行規制情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0111-1	入力	通行規制情報	通行規制情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	通行規制情報登録結果メッセージ
AB0111-2	入力	規制ID 管理者 管理団体名 道路種別 路線名 登録日時_開始 登録日時_終了 通行規制災害種別	通行規制情報参照メッセージ
	出力	通行規制情報	通行規制情報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：通行規制情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	通行規制情報						1	N		各種道路の規制状況に関する情報
3	規制ID		X	20			1	1		規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード（2桁）+市町村コード（3桁）+C+管理番号（5桁～）で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
4	管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		道路の管理者（国、都道府県、市町村）
5	管理団体名		N	30			1	1		道路を管理している団体名
6	道路種別		X	2	○	道路種別	1	1		道路種別
7	路線名		N	40			1	1		路線名称（ex 国道1号線）。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
8	登録日時		日付時間情報				1	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	通行規制災害種別		X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	1	1		通行規制情報の災害種別
10	緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	1	1		緊急輸送路指定の有無
11	規制開始位置		N	100			1	1		通行規制の開始場所
12	規制終了位置		N	100			1	1		通行規制の終了場所
13	規制発生日時		日付時間情報				1	1		通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。
14	規制解除日時		日付時間情報				1	1		通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。
15	時間帯規制種別						0	1		規制時間帯に関する情報

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
					CD	コード名	最小	最大			
16		規制種別	X	1	○	時間帯規制種別	0	1		終日規制	
17		時間帯規制開始時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の開始時刻	
18		時間帯規制終了時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の終了時刻	
19		規制原因内容		N	4000			0	1		通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキームでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
20		迂回路有無		X	1	○	迂回路	1	1		迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
21		迂回方法		N	4000			0	1		具体的な迂回方法
22		復旧見込み日時		日付時間情報				1	1		復旧の見込みの日時
23		備考		N	4000			0	1		備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：通行規制情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	規制ID			X	20			0	1		規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード（2桁）+市町村コード（3桁）+C+管理番号（5桁～）で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
3	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		道路の管理者（国、都道府県、市町村）
4	管理団体名			N	30			0	1		道路を管理している団体名
5	道路種別			X	2	○	道路種別	0	1		道路種別
	路線名			N	40			0	1		路線名称（ex 国道1号線）。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
6	登録日時_開始			日付時間情報				0	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	登録日時_終了			日付時間情報				0	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	通行規制識別情報			X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	0	1		通行規制情報の災害種別

メッセージ定義			メッセージ定義名：通行規制情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
1	通行規制情報						1	N	各種道路の規制状況に関する情報
2	規制ID	X	20				1	1	規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+C+管理番号(5桁~)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
3	管理者	X	2	○	管理者種別		1	1	道路の管理者(国、都道府県、市町村)
4	管理団体名	N	30				1	1	道路を管理している団体名
5	道路種別	X	2	○	道路種別		1	1	道路種別
6	路線名	N	40				1	1	路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
7	登録日時	日付時間情報					1	1	登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	通行規制災害種別	X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別		1	1	通行規制情報の災害種別
9	緊急輸送路の指定	X	1	○	緊急輸送路指定		1	1	緊急輸送路指定の有無
10	規制開始位置	N	100				1	1	通行規制の開始場所
11	規制終了位置	N	100				1	1	通行規制の終了場所
12	規制発生日時	日付時間情報					1	1	通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。
13	規制解除日時	日付時間情報					1	1	通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。
14	時間帯規制種別						0	1	規制時間帯に関する情報
15	規制種別	X	1	○	時間帯規制種別		0	1	終日規制

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
16		時間帯規制開始時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の開始時刻
17		時間帯規制終了時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の終了時刻
18	規制原因内容		N	4000			0	1		通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキーマでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
19	迂回路有無		X	1	○	迂回路	1	1		迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
20	迂回方法		N	4000			0	1		具体的な迂回方法
21	復旧見込み日時		日付時間情報				1	1		復旧の見込みの日時
22	備考		N	4000			0	1		備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（水防活動情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0112-1	入力	水防活動情報	水防活動情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	水防活動情報登録結果メッセージ
AB0112-2	入力	災害識別情報 災害名 水防活動識別情報 管理団体名 報告年月日_開始 報告年月日_終了 河川名 災害終結フラグ	水防活動情報参照メッセージ
	出力	水防活動情報	水防活動情報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：水防活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	水防活動情報						1	N		洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する情報
3		災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
5		水防活動識別情報	X	20			1	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+S+管理番号(5桁～)で管理する
6		管理団体名	N	30			1	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
7		報告年月日					1	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		報告者名					0	1		報告を実施した職員の氏名
9		河川名	N	12			1	1		水防活動を実施する河川の名称
10		場所	N	100			1	1	○	出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
11		日時					1	1		活動を実施した日時
12		自					1	1		開始日時
13		至					1	1		終了日時
14		出動人員数					0	1		出動人員数

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15			水防団員	9	7			0	1		出動している水防団員の数(人)
16			消防団員	9	7			0	1		出動している消防団員の数(人)
17			その他	9	7			0	1		出動しているその他の人員の数(人)
18			出動人員数_計	9	8			0	1		出動人員の合計(人)
19	水防作業の概況及び工法							1	1		水防作業の概況及び工法について
20			工法	N	4000			1	1		実施工法名
21			箇所	N	4000			1	1		作業箇所
22			m	9V				1	1		範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません
23	備考		N	4000			0	1		備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する	

メッセージ定義

メッセージ定義名：水防活動情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：水防活動情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを指す
4	水防活動識別情報		X	20			0	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+S+管理番号(5桁～)で管理する
5	管理団体名		N	30			0	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
6	報告年月日_開始		日付情報				0	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告年月日_終了		日付情報				0	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	河川名		N	12			0	1		水防活動を実施する河川の名称
9	災害終結フラグ		X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	水防活動情報						1	N		洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する情報
2	災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	水防活動識別情報		X	20			1	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+S+管理番号(5桁～)で管理する
5	管理団体名		N	30			1	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
6	報告年月日		日付情報				1	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
8	河川名		N	12			1	1		水防活動を実施する河川の名称
9	場所		N	100			1	1	○	出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
10	日時						1	1		活動を実施した日時
11	自		日付時間情報				1	1		開始日時
12	至		日付時間情報				1	1		終了日時
13	出動人員数						0	1		出動人員数
14	水防団員		9	7			0	1		出動している水防団員の数(人)

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15	水防作業の概況及び工法	消防団員	9	7			0	1		出動している消防団員の数(人)	
16		その他	9	7			0	1		出動しているその他の人員の数(人)	
17		出動人員数_計	9	8			0	1		出動人員の合計(人)	
18							1	1		水防作業の概況及び工法について	
19		工法	N	4000			1	1		実施工法名	
20		箇所	N	4000			1	1		作業箇所	
21		m	9V				1	1		範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません	
22	備考		N	4000			0	1		備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する	

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（自治体基礎情報）		
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0113-1	入力	自治体基礎情報	自治体基礎情報登録メッセージ	disAB0113s-2018-01.xsd disAB0113s-2018-01.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	自治体基礎情報登録結果メッセージ	
AB0113-2	入力	都道府県 市町村_消防本部名	自治体基礎情報参照メッセージ	disAB0113s-2018-01.xsd disAB0113s-2018-01.wsdl
	出力	自治体基礎情報	自治体基礎情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：自治体基礎情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	自治体基礎情報							1	N		災害対応時に使用する可能性が高い公共施設（自治体管理対象）の情報
3		都道府県		N	12			1	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
4		市町村_消防本部名		N	12			1	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称
5		公共施設情報						0	N		自治体が有する公共施設に関する情報
6		公共施設名		N	30			0	1		公共施設名称
7		公共施設_住所		住所情報				0	1	○	公共施設の住所
8		重要施設情報						0	N		自治体の管内にある重要施設に関する情報
9		重要施設名		N	30			0	1		重要施設の名称
10		重要施設種別		X	2	○	重要施設	0	1		災害時の重要施設の施設種別
11		重要施設_住所		住所情報				0	1		重要施設の住所
12		医療施設情報						0	N		自治体の管内にある医療施設に関する情報
13		医療施設名		N	30			0	1	○	医療施設の名称
14		医療施設_住所		住所情報				0	1	○	病院の住所
15		医療施設_連絡先		X	30			0	1		病院の連絡先
16		備考		N	4000			0	1		備考欄として自治体基礎情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：自治体基礎情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義

メッセージ定義名：自治体基礎情報参照メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット (サービス要求側業務ユニット)の業務ユニット番号
2	都道府県			N	12			0	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当 する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
3	市町村_消防本部名			N	12			0	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称

メッセージ定義

メッセージ定義名：自治体基礎情報参照結果メッセージ

NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明		
					CD	コード名	最小	最大				
1	自治体基礎情報						1	N		災害対応時に使用する可能性が高い公共施設（自治体管理対象）の情報		
2		都道府県	N	12				1	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称	
3		市町村_消防本部名	N	12				1	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称	
4		公共施設情報						0	N		自治体が有する公共施設に関する情報	
5			公共施設名	N	30			0	1		公共施設名称	
6			公共施設_住所	住所情報					0	1	○	公共施設の住所
7		重要施設情報						0	N		自治体の管内にある重要施設に関する情報	
8			重要施設名	N	30			0	1		重要施設の名称	
9			重要施設種別	X	2	○	重要施設	0	1			災害時の重要施設の施設種別
10			重要施設_住所	住所情報					0	1		重要施設の住所
11		医療施設情報						0	N		自治体の管内にある医療施設に関する情報	
12			医療施設名	N	30			0	1	○	医療施設の名称	
13			医療施設_住所	住所情報					0	1	○	病院の住所
14			医療施設_連絡先	X	30				0	1		病院の連絡先
15		備考		N	4000			0	1		備考欄として自治体基礎情報に関連するその他情報を記入する	

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（物資_資機材備蓄情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0114-1	入力	物資_資機材備蓄情報	物資_資機材備蓄情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	物資_資機材備蓄情報登録結果メッセージ
AB0114-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_災对本部名 登録日時_開始 登録日時_終了 備蓄施設情報 災害終結フラグ	物資_資機材備蓄情報参照メッセージ
	出力	物資_資機材備蓄情報	物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	物資_資機材備蓄情報							1	N		平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
6		市町村_災对本部名		N	12			1	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村もしくは災对本部の名称
7		登録日時						1	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		備蓄施設情報						1	N		資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
9		備蓄施設識別情報		X	20			1	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+M+管理番号(5桁)で管理する。
10		備蓄施設名		N	30			1	1		備蓄している物資の名称
11		保有車両		9	7			0	1		団体が保有している車両数
12		船艇		9	7			0	1		船艇数
13		ヘリコプター		9	7			0	1		ヘリコプター数
14		土嚢袋		9	7			0	1		土嚢袋数
15		ビニールシート		9	7			0	1		ビニールシート数
16		テント		9	7			0	1		テントの数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ

NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
17	更衣室_授乳室	9	7			0	1		更衣室や授乳室の数
18	車椅子	9	7			0	1		車椅子の数
19	なわ	9	7			0	1		なわの数
20	針金	9	7			0	1		針金の数
21	スコップ	9	7			0	1		スコップの数
22	くい	9	7			0	1		くいの数
23	のこぎり	9	7			0	1		のこぎりの数
24	おの	9	7			0	1		おのの数
25	ハンマー	9	7			0	1		ハンマーの数
26	かま	9	7			0	1		かまの数
27	なた	9	7			0	1		なたの数
28	じょれん	9	7			0	1		じょれんの数
29	つるはし	9	7			0	1		つるはしの数
30	杉丸太	9	7			0	1		杉丸太の数
31	釘	9	7			0	1		釘の数
32	かけや	9	7			0	1		かけやの数
33	小車	9	7			0	1		小車の数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ

NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
34	ベンチ	9	7			0	1		ベンチの数
35	金槌	9	7			0	1		金槌の数
36	ウィンチ	9	7			0	1		ウィンチの数
37	かすがい	9	7			0	1		かすがいの数
38	バケツ	9	7			0	1		バケツの数
39	救命ブイ	9	7			0	1		救命ブイの数
40	救命ボート	9	7			0	1		救命ボートの数
41	ロープ	9	7			0	1		ロープの数
42	懐中電灯	9	7			0	1		懐中電灯の数
43	救助用照明具	9	7			0	1		救助用照明具の数
44	発電機	9	7			0	1		発電機の数
45	ガソリン携行缶	9	7			0	1		ガソリン携行缶の数
46	無線機	9	7			0	1		無線機の数
47	ラジオ	9	7			0	1		ラジオの数
48	簡易救助器具	9	7			0	1		簡易救命器具の数
49	拡声器	9	7			0	1		拡声器の数
50	間仕切り	9	7			0	1		間仕切りの数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ

NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
51	コンクリートパネル	9	7			0	1		コンクリートパネルの数
52	仮設簡易トイレ	9	7			0	1		仮設トイレや簡易トイレの数
53	断熱シート	9	7			0	1		断熱シートの数
54	アルファ米	9	7			0	1		アルファ米の数
55	かんぱん	9	7			0	1		かんぱんの数
56	クラッカー	9	7			0	1		クラッカーの数
57	保存飲料水	9	7			0	1		保存飲料水の数
58	毛布	9	7			0	1		毛布の枚数
59	エマージェンシーブランケット	9	7			0	1		エマージェンシーブランケットの数
60	オールウェザーブランケット	9	7			0	1		オールウェザーブランケットの数
61	ミルク	9	7			0	1		ミルクの数
62	哺乳瓶	9	7			0	1		哺乳瓶の数
63	離乳食	9	7			0	1		離乳食の数
64	やかん	9	7			0	1		やかんの数
65	カセットコンロ	9	7			0	1		カセットコンロの数
66	おむつ_大人用	9	7			0	1		大人用のおむつの数
67	おむつ_子供用	9	7			0	1		子供用のおむつの数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
68			生理用品	9	7			0	1		生理用品の数
69			医療資機材	9	7			0	1		医療資機材の数
70		備考		N	4000			0	1		備考欄として物資_資機材備蓄情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報		X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名		N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	都道府県		N	12			0	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_災対本部名		N	12			0	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村もしくは災対本部の名称
6	登録日時_開始		日付時間情報				0	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	登録日時_終了		日付時間情報				0	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	備蓄施設情報						0	N		資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
9		備蓄施設識別情報	X	20			0	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+M+管理番号(5桁)で管理する。
10		備蓄施設名	N	30			0	1		備蓄している物資の名称
11	災害終結フラグ		X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
1	物資_資機材備蓄情報						1	N	平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁〜)で管理する
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	都道府県	N	12				1	1	物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_災対本部名	N	12				1	1	物資・資機材を管理・備蓄している市町村もしくは災対本部の名称
6	登録日時	日付時間情報					1	1	情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	備蓄施設情報						1	N	資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
8	備蓄施設識別情報	X	20				1	1	避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+M+管理番号(5桁)で管理する。
9	備蓄施設名	N	30				1	1	備蓄している物資の名称
10	保有車両	9	7				0	1	団体が保有している車両数
11	船艇	9	7				0	1	船艇数
12	ヘリコプター	9	7				0	1	ヘリコプター数
13	土嚢袋	9	7				0	1	土嚢袋数
14	ビニールシート	9	7				0	1	ビニールシート数
15	テント	9	7				0	1	テントの数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ

NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
16		更衣室_授乳室	9	7			0	1		更衣室や授乳室の数
17		車椅子	9	7			0	1		車椅子の数
18		なわ	9	7			0	1		なわの数
19		針金	9	7			0	1		針金の数
20		スコップ	9	7			0	1		スコップの数
21		くい	9	7			0	1		くいの数
22		のこぎり	9	7			0	1		のこぎりの数
23		おの	9	7			0	1		おのの数
24		ハンマー	9	7			0	1		ハンマーの数
25		かま	9	7			0	1		かまの数
26		なた	9	7			0	1		なたの数
27		じょれん	9	7			0	1		じょれんの数
28		つるはし	9	7			0	1		つるはしの数
29		杉丸太	9	7			0	1		杉丸太の数
30		釘	9	7			0	1		釘の数
31		かけや	9	7			0	1		かけやの数
32		小車	9	7			0	1		小車の数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ

NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
33		ベンチ	9	7			0	1		ベンチの数
34		金槌	9	7			0	1		金槌の数
35		ウィンチ	9	7			0	1		ウィンチの数
36		かすがい	9	7			0	1		かすがいの数
37		バケツ	9	7			0	1		バケツの数
38		救命ブイ	9	7			0	1		救命ブイの数
39		救命ボート	9	7			0	1		救命ボートの数
40		ロープ	9	7			0	1		ロープの数
41		懐中電灯	9	7			0	1		懐中電灯の数
42		救助用照明具	9	7			0	1		救助用照明具の数
43		発電機	9	7			0	1		発電機の数
44		ガソリン携行缶	9	7			0	1		ガソリン携行缶の数
45		無線機	9	7			0	1		無線機の数
46		ラジオ	9	7			0	1		ラジオの数
47		簡易救助器具	9	7			0	1		簡易救命器具の数
48		拡声器	9	7			0	1		拡声器の数
49		間仕切り	9	7			0	1		間仕切りの数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ

NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
50			コンクリートパネル	9	7			0	1	コンクリートパネルの数
51			仮設簡易トイレ	9	7			0	1	仮設トイレや簡易トイレの数
52			断熱シート	9	7			0	1	断熱シートの数
53			アルファ米	9	7			0	1	アルファ米の数
54			かんぱん	9	7			0	1	かんぱんの数
55			クラッカー	9	7			0	1	クラッカーの数
56			保存飲料水	9	7			0	1	保存飲料水の数
57			毛布	9	7			0	1	毛布の枚数
58			エマージェンシーブランケット	9	7			0	1	エマージェンシーブランケットの数
59			オールウェザーブランケット	9	7			0	1	オールウェザーブランケットの数
60			ミルク	9	7			0	1	ミルクの数
61			哺乳瓶	9	7			0	1	哺乳瓶の数
62			離乳食	9	7			0	1	離乳食の数
63			やかん	9	7			0	1	やかんの数
64			カセットコンロ	9	7			0	1	カセットコンロの数
65			おむつ_大人用	9	7			0	1	大人用のおむつの数
66			おむつ_子供用	9	7			0	1	子供用のおむつの数

メッセージ定義

メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
67			生理用品	9	7			0	1		生理用品の数
68			医療資機材	9	7			0	1		医療資機材の数
69		備考		N	4000			0	1		備考欄として物資_資機材備蓄情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（道路被害情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0115-1	入力	道路被害情報	道路被害情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	道路被害情報登録結果メッセージ
AB0115-2	入力	災害識別情報 災害名 管理者 管理団体名 道路種別 路線名 報告日時_開始 報告日時_終了 道路被害識別情報 災害終了フラグ	道路被害情報参照メッセージ
	出力	道路被害情報	道路被害情報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：道路被害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	道路被害情報						1	N		道路に関する被害情報
3		災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨す
5		管理者	X	2	○	管理者種別	1	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
6		管理団体名	N	30			1	1		道路を管理している団体名
7		道路種別	X	2	○	道路種別	1	1		道路の種別(地方道、高速道等)
8		路線名	N	30			1	1		路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
9		報告日時					1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10		報告者名					0	1		報告を実施した職員の氏名
11		道路被害識別情報	X	20			1	1		道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+R+管理番号(5桁～)で管理する
12		被害区分	X	2	○	その他被害区分	1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
13		発生場所	N	100			1	1	○	被害が発生した場所。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。
14		対応状況	N	4000			0	1		被害に対する対応状況

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15	緊急輸送路の指定			X	1	○	緊急輸送路指定	0	1		緊急輸送路指定の有無
16	復旧見込み日時			日付時間情報				0	1		復旧の見込みの日時。TVCM2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。
17	備考			N	4000			0	1		備考欄として道路被害情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：道路被害情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
5	管理団体名			N	30			0	1		道路を管理している団体名
6	道路種別			X	2	○	道路種別	0	1		道路の種別(地方道、高速道等)
7	路線名			N	30			0	1		路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
8	報告日時_開始							0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	報告日時_終了							0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10	道路被害識別情報			X	20			0	1		道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+R+管理番号(5桁～)で管理する
11	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態(継続しているか、終結しているか)を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：道路被害情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小	最大		
1	道路被害情報						1	N	道路に関する被害情報
2	災害識別情報	X	20				1	1	災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁〜)で管理する
3	災害名	N	40				1	1	災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	管理者	X	2	○	管理者種別		1	1	道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
5	管理団体名	N	30				1	1	道路を管理している団体名
6	道路種別	X	2	○	道路種別		1	1	道路の種別(地方道、高速道等)
7	路線名	N	30				1	1	路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
8	報告日時					日付時間情報	1	1	報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	報告者名					職員名情報	0	1	報告を実施した職員の氏名
10	道路被害識別情報	X	20				1	1	道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+R+管理番号(5桁〜)で管理する
11	被害区分	X	2	○	その他被害区分		1	1	被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
12	発生場所	N	100				1	1	○ 被害が発生した場所。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。
13	対応状況	N	4000				0	1	被害に対する対応状況
14	緊急輸送路の指定	X	1	○	緊急輸送路指定		0	1	緊急輸送路指定の有無

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15		復旧見込み日時		日付時間情報				0	1		復旧の見込みの日時。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。
16		備考		N	4000			0	1		備考欄として道路被害情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（橋梁被害情報）	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
AB0116-1	入力	橋梁被害情報	橋梁被害情報登録メッセージ
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	橋梁被害情報登録結果メッセージ
AB0116-2	入力	災害識別情報 災害名 管理者 管理団体名 橋梁名 報告日時_開始 報告日時_終了 橋梁被害識別情報 災害終了フラグ	橋梁被害情報参照メッセージ
	出力	橋梁被害情報	橋梁被害情報参照結果メッセージ

メッセージ定義			メッセージ定義名：橋梁被害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	橋梁被害情報						1	N		橋梁に関する被害情報
3		災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
5		管理者	X	2	○	管理者種別	1	1		橋梁の管理者
6		管理団体名	N	30			1	1		橋梁を管理している団体名
7		橋梁名	N	30			1	1		橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
8		報告日時					1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないことやデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		報告者名					0	1		報告を実施した職員の氏名
10		橋梁被害識別情報	X	20			1	1		橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+B+管理番号(5桁～)で管理する
11		被害区分	X	2	○	その他被害区分	1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
12		発生場所	N	100			1	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
13		対応状況	N	4000			0	1		被害に対する対応状況
14		復旧見込み日時					0	1		復旧の見込みの日時
15		備考	N	4000			0	1		備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：橋梁被害情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：橋梁被害情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		橋梁の管理者
5	管理団体名			N	30			0	1		橋梁を管理している団体名
6	橋梁名			N	30			0	1		橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
7	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	橋梁被害識別情報			X	20			0	1		橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+B+管理番号(5桁～)で管理する
10	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義			メッセージ定義名：橋梁被害情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
				CD	コード名	最小	最大			
1	橋梁被害情報						1	N		橋梁に関する被害情報
2	災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名	N	40				1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする
4	管理者	X	2	○	管理者種別		1	1		橋梁の管理者
5	管理団体名	N	30				1	1		橋梁を管理している団体名
6	橋梁名	N	30				1	1		橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
7	報告日時					日付時間情報	1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないことデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	報告者名					職員名情報	0	1		報告を実施した職員の氏名
9	橋梁被害識別情報	X	20				1	1		橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+B+管理番号(5桁～)で管理する
10	被害区分	X	2	○	その他被害区分		1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
11	発生場所	N	100				1	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
12	対応状況	N	4000				0	1		被害に対する対応状況
13	復旧見込み日時					日付時間情報	0	1		復旧の見込みの日時
14	備考	N	4000				0	1		備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（映像情報）		
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0117-1	入力	映像情報	映像情報登録メッセージ	disAB0117s-2018-01.xsd disAB0117s-2018-01.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	映像情報登録結果メッセージ	
AB0117-2	入力	管理者 管理団体名	映像情報参照メッセージ	disAB0117s-2018-01.xsd disAB0117s-2018-01.wsdl
	出力	映像情報	映像情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：映像情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	映像情報							1	N		各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像等に関する情報
3		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		映像情報を管理・配信している団体種別（国、都道府県、市町村、その他）
4		管理団体名		N	30			1	1		映像情報を管理・配信している団体名称
5		映像提供元URL		X	4000			1	1		被害映像情報を提供先のURL
6		備考		N	4000			0	1		備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：映像情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義

メッセージ定義名：映像情報参照メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット (サービス要求側業務ユニット)の業務ユニット番号
2	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		映像情報を管理・配信している団体種別(国、都道府県、市町 村、その他)
3	管理団体名			N	30			0	1		映像情報を管理・配信している団体名称

メッセージ定義			メッセージ定義名：映像情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	映像情報						1	N		各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像等に関する情報
2		管理者	X	2	○	管理者種別	1	1		映像情報を管理・配信している団体種別(国、都道府県、市町村、その他)
3		管理団体名	N	30			1	1		映像情報を管理・配信している団体名称
4		映像提供元URL	X	4000			1	1		被害映像情報を提供先のURL
5		備考	N	4000			0	1		備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（避難場所情報）		
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0118-1	入力	避難場所情報	避難場所情報登録メッセージ	disAB0118s-2018-01.xsd disAB0118s-2018-01.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	避難場所情報登録結果メッセージ	
AB0118-2	入力	都道府県 市町村_災对本部名 避難場所名	避難場所情報参照メッセージ	disAB0118s-2018-01.xsd disAB0118s-2018-01.wsdl
	出力	避難場所情報	避難場所情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難場所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	避難場所情報						1	N		避難場所の運営に関する情報
3		都道府県	N	12			1	1		避難場所を運営する市町村が属する都道府県の名称
4		市町村_災对本部名	N	12			1	1		避難場所を運営する市町村もしくは災对本部の名称
5		避難場所名	N	30			1	1		避難場所の名称
6		電話番号	X	30			0	1		避難場所の電話番号
7		FAX番号	X	30			0	1		避難場所のFAX番号
8		管理者	職員名情報				0	1		避難場所の管理者名
9		収容人数	9	7			0	1		避難場所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
10		使用可否	X	1	○	可否	0	1		避難場所の使用可否（避難場所の損壊状況次第では使用できないことも想定）
11		備考	N	4000			0	1		備考欄として避難場所情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義

メッセージ定義名：避難場所情報登録結果メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義			メッセージ定義名：避難場所情報参照メッセージ							
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット		X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット (サービス要求側業務ユニット)の業務ユニット番号
2	都道府県		N	12			0	1		避難場所を運営する市町村が属する都道府県の名称
3	市町村_災対本部名		N	12			0	1		避難場所を運営する市町村もしくは災対本部の名称
4	避難場所名		N	30			0	1		避難場所の名称

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難場所情報参照結果メッセージ						
NO	データ項目名		データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
					CD	コード名	最小	最大		
1	避難場所情報						1	N		避難場所の運営に関する情報
2	都道府県		N	12			1	1		避難場所を運営する市町村が属する都道府県の名称
3	市町村_災対本部名		N	12			1	1		避難場所を運営する市町村もしくは災対本部の名称
4	避難場所名		N	30			1	1		避難場所の名称
5	電話番号		X	30			0	1		避難場所の電話番号
6	FAX番号		X	30			0	1		避難場所のFAX番号
7	管理者		職員名情報				0	1		避難場所の管理者名
8	収容人数		9	7			0	1		避難場所の収容者人数
9	使用可否		X	1	○	可否	0	1		避難場所の使用可否(避難場所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
10	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難場所情報に関連するその他情報を記入する